

2022年SF回顧資料 (国内SF出版リスト) SFファン交流会1月例会 資料 (提供: 香月祥宏氏)

1月

『教育』 遠野遥 (河出書房新社) 1/6
『人類よさらば』 筒井康隆 (河出文庫) 1/6
『名探偵に甘美なる死を』 方丈貴恵 (東京創元社) 1/8
『小松左京“21世紀”セレクション2 闇の中の子供/ゴルディアスの結び目』 (徳間文庫) 1/12
『桜底 警視庁異能処理班ミカヅチ』 内藤了 (講談社タイガ) 1/14
『虹霓のかたがわ』 榛見あきる (ゲンロン SF 文庫) 1/15
『僕とアリスの夏物語 人工知能の、その先へ』 谷口忠大 (岩波科学ライブラリー) 1/15
『星のラジオとネジマキ世界』 日向理恵子 (PHP 研究所) 1/18
『SSSS.DYNAZENON CHRONICLE』 水沢夢 (小学館) 1/19
『スターシェイカー』 人間六度 (早川書房) 1/19
『サーキットスイッチャー』 安野貴博 (早川書房) 1/19
『大日本帝国の銀河5』 林譲治 (ハヤカワ文庫 JA) 1/25
『いかに終わるか 山野浩一発掘小説集』 岡和田晃編 (小鳥遊書房) 1/20
『旅書簡集 ゆきあってしあさって』 高山羽根子西島伝法倉田タカシ (東京創元社) 1/27
『あれは子どものための歌』 明神しじま (東京創元社) 1/27

2月

『クラッシャージョウ別巻3 コワルスキーの大冒険』 高千穂遙 (ハヤカワ文庫 JA) 2/2
『断罪のネバーモア』 市川愛人 (KADOKAWA) 2/2
『彼女は二度、殺される』 秋尾秋 (宝島社) 2/4
『その午後、巨匠たちは、』 藤原無雨 (河出書房新社) 2/11
『ツインスターサイクロンランナウェイ2』 小川一水 (ハヤカワ文庫 JA) 2/16
『チェレンコフの眠り』 一條次郎 (新潮社) 2/18
『地球外少年少女』 カミツクレイニー (小学館ガガカ文庫) 2/18
『オオール流星群』 伊与原新 (KADOKAWA) 2/18
『幾度めかの命』 暖あやこ (新潮社) 2/18
『ブラックムーン』 逢坂剛 (中央公論新社) 2/21
『クラウドの城』 大谷睦 (光文社) 2/22
『薊の季節が始まる』 福田和代 (光文社) 2/22
『クローンゲーム いのちの人形』 横関大 (角川文庫) 2/22
『獣たちの海』 上田早夕里 (ハヤカワ文庫 JA) 2/25
『コーリングユー』 永原皓 (集英社) 2/25
『願いの始まり 神神化身』 斜線堂有紀 (ドワンゴ) 2/25

3月

『雷音の機械兵』 涼海風羽 (幻冬舎) 3/2
『世界が青くなったら』 武田綾乃 (文藝春秋) 3/7
『夏に祈りを ただし、無音に限り』 織守きょうや (東京創元社) 3/10

『眼球達磨式』 澤大知 (河出書房新社) 3/11
『ひまわりは恋の形』 宇山圭祐 (小学館)
『ヘバリストの侍女』 白木健嗣 (光文社) 3/15
『曼陀羅華X』 古川日出男 (新潮社) 3/15
『マルドゥックアノニマス7』 沖方丁 (ハヤカワ文庫 JA) 3/16
『鈴波アミを待っています』 塗田一帆 (早川書房) 3/16
『新編 夢の棲む街』 山尾悠子 (ステュディオパラボリカ) 3/18
『カラマーゾフの兄妹 オリジナルヴァージョン』 高野史緒 (盛林堂ミステリアス文庫) 3/19
『白銀騎士団』 田中芳樹 (光文社) 3/23
『テウトの創薬』 岩木一麻 (KADOKAWA) 3/24
『パラレルフィクショナル』 西澤保彦 (祥伝社) 3/25
『幽世の薬剤師』 紺野天龍 (新潮文庫 nex) 3/28
『引力の欠落』 上田岳弘 (KADOKAWA) 3/29
『エンドロール』 潮谷駿 (講談社) 3/31

4月

『君たちはしかし再び来い』 山下澄人 (文藝春秋) 4/11
『不可視の網』 林譲治 (光文社文庫) 4/12
『ギフト 異形コレクション LIII』 井上雅彦編 (光文社文庫) 4/12
『さよならに反する現象』 乙一 (KADOKAWA) 4/13
『大人になるとき』 草上仁 (竹書房文庫) 4/15
『アドルムコ会全史』 佐川恭一 (代わりに読む人) 4/15
『アグレッサーズ 戦闘妖精雪風』 神林長平 (早川書房) 4/20
『法治の獣』 春暮康一 (ハヤカワ文庫 JA) 4/20
『百年文通』 伴名練 (一迅社) 4/20
『百年厨房』 村崎なぎこ (小学館) 4/20
『スーサイドホーム』 柴田勝家 (二見文庫) 4/21
『この恋が壊れるまで夏が終わらない』 杉井光 (新潮文庫 nex) 4/26

5月

『夢伝い』 宇佐美まこと (集英社) 5/2
『我が尻よ、高らかに謳え、愛の唄を』 浅暮三文 (河出文庫) 5/3
『天秤の護り人』 安澄加奈 (ポプラ文庫) 5/10
『謎掛鬼 警視庁捜査一課小野瀬遥の黄昏事件簿』 澤村鐵 (双葉文庫) 5/12
『やがて飛び立つその日には』 石野晶 (双葉文庫) 5/12
『東京棄民』 赤松利一 (講談社文庫) 5/13
『もうこれ以上、君が消えてしまわないために』 鹿ノ倉いるか (徳間文庫) 5/13
『眼を開けたまま夢を見る』 樋口恭介 (KDP) 5/15
『森をひらいて』 鎌倉さりえ (新潮社) 5/18
『空を切り裂いた』 飴村行 (新潮社) 5/18

『天空の密室』未須本有生（南雲堂）5/19
『討ち入り奇想天外 元禄八犬伝 五』田中啓文（集英社文庫）5/20
『沈みかけの船より、愛をこめて』乙一、中田永一、山白朝子（朝日新聞社出版）5/20
『化物園』恒川光太郎（中央公論新社）5/23
『2084年のSF』日本SF作家クラブ編（ハヤカワ文庫JA）5/24
『AI 法廷のハッカー弁護士』竹田人造（早川書房）5/24
『おもいでマシン』梶尾真治（新潮文庫 nex）5/30
『スパイコードW』福田和代（KADOKAWA）5/30
『愛蔵版 銀河英雄伝説〈1〉黎明篇／野望篇』田中芳樹（東京創元社）5/31

『浅生鴨短篇小説集 すべては一度きり』浅生鴨（左右社）6/1
『信仰』村田沙耶香（文藝春秋）6/8
『カムイの剣』矢野徹（徳間文庫）6/8
『日露戦争秘話 西郷隆盛を救出せよ』横田順彌（竹書房文庫）6/15
『ギークに銃はいらない』斧田小夜（破滅派）6/20
『氷住灯子教授と僕とYの世界』有間カオル（二見書房）6/21

6月

『姫』花村萬月（光文社）6/21
『無垢なる花たちのためのユートピア』川野芽生（東京創元社）6/21
『新しい世界を生きるための14のSF』伴名練編（ハヤカワ文庫JA）6/22
『ショートショート実験室』田丸雅智（エルギーフォーラム）6/23
『地図と拳』小川哲（集英社）6/24
『陽だまりの果て』大濱普美子（国書刊行会）6/24
『道』白石一文（小学館）6/28
『リトルゾンビガール』徳野有美（NHK出版）6/28
『爆発物処理班の遭遇したスピン』佐藤究（講談社）6/29
『CF』吉村萬壺（徳間書店）6/29
『神々の歩法』宮澤伊織（創元日本SF叢書）6/30
『短篇七芒星』舞城王太郎（講談社）6/30
『幽霊絵師火狂 筆のみが知る』近藤史恵（KADOKAWA）6/30
『鯉姫婚姻譚』藍堂ツバメ（新潮社）6/30
『新編怪奇幻想の文学1 怪物』（新紀元社）6/30

7月

『あさとほ』新名智（KADOKAWA）7/1
『箱庭の巡礼者たち』恒川光太郎（KADOKAWA）7/4
『掬えば手には』瀬尾まいこ（講談社）7/5
『凍る草原に鐘は鳴る』天城光琴（文藝春秋）7/5
『平成古書奇談』横田順彌（ちくま文庫）7/9
『家庭用安心坑夫』小砂川チト（講談社）7/11

『紙の梟 ハーシュソサエティ』貫井徳郎（文藝春秋）7/13
『光』日野啓三（小学館）7/14
『うえから京都』篠友子（角川春樹事務所）7/15
『蝶と帝国』南木義隆（河出書房新社）7/16
『工作艦明石の孤独1』林譲治（ハヤカワ文庫JA）7/20
『名もなき本棚』三崎亜記（集英社文庫）7/20
『戦闘妖精雪風〈改〉〔愛蔵版〕』神林長平（早川書房）7/20
『5A73』詠坂雄二（光文社）7/20
『残像に口紅を 復刻版』筒井康隆（中央公論新社）7/20
『まず牛を球とします。』柞刈湯葉（河出書房新社）7/21
『ゴジラ S.P <シンギュラポイント>』円城塔（集英社）7/26
『死んでいる私と、私みたいの人たちの声』大前栗生（河出書房新社）7/26
『きらめきを落としても』鯨井あめ（講談社）7/27
『水平線』滝口悠生（新潮社）7/27
『幻告』五十嵐律人（講談社）7/27
『裏切りのギフト』穂波了（双葉社）7/27
『アナベルリイ』小池真理子（KADOKAWA）7/29
『最後の鑑定人』岩井圭也（KADOKAWA）7/29
『出雲国譲りの謎 始度一海邪馬臺国への道、決定解』荒巻義雄（小島遊書房）7/29

8月

『小松左京“21世紀”セレクション3 継ぐのは誰か？／ヴォミーサ』（徳間文庫）8/9
『僕が君の名前を呼ぶから』乙野四文字（ハヤカワ文庫JA）8/10
『屋久島トワイライト』樋口明雄（山と溪谷社）8/13
『星霊の艦隊1』山口優（ハヤカワ文庫JA）8/17
『はじまりの町がはじまらない』夏海公司（ハヤカワ文庫JA）8/17
『裂けた明日』佐々木譲（新潮社）8/18
『灰かぶりの夕海』市川憂人（中央公論新社）8/22
『此の世の果ての殺人』荒木あかね（講談社）8/23
『DOPE 麻薬取締部特捜課』木崎あき（KADOKAWA）8/24
『月の三相』石沢麻依（講談社）8/25
『夜がうたた寝してる間に』君嶋彼方（KADOKAWA）8/26
『SF アンソロジー 新月／朧木果樹園の軌跡』井上彼方編（Kaguya Books）8/29
『二世界物語 世界最強の暗殺者と現代の高校生が入れ替わったら』深見真（KADOKAWA）8/30
『ループオブザコード』荻堂顕（新潮社）8/31
『ベストSF2022』大森望編（竹書房文庫）8/31
『孤立宇宙』熊谷達也（講談社）8/31
『小説の小説』似鳥鶯（KADOKAWA）9/2
『レゾンデートルの誓い』樺一志（ドワンゴ）9/5
『私たちは25歳で死んでしまう』砂川雨路（小学館文庫）9/6

『一千億の if』 斎藤詠一（祥伝社） 9/9
『首取物語』 西條奈加（徳間書店） 9/10
『星霊の艦隊 2』 山口優（ハヤカワ文庫 JA） 9/14
『SF 作家の地球旅行記』 柘刈湯葉（産業編集センター） 9/14
『名探偵のいけにえ：人民教会殺人事件』 白井智之（新潮社） 9/15
『ドラゴンズタン』 宇佐美まこと（新潮社） 9/15
『本の幽霊』 西崎憲（ナナロク社） 9/27
『RE:BEL ROBOTICA -レベルロポチカー-』 三雲岳斗（新潮文庫 nex） 9/28
『RE:BEL ROBOTICA 0 -レベルロポチカ 0-』 吉上亮（新潮文庫 nex） 9/28
『あらゆる薔薇のために』 潮谷駿（講談社） 9/29
『Genesis この光が落ちないように 創元日本 SF アンソロジー』（創元社） 9/30

『右から二番目の夏』 梅野小吹（KADOKAWA） 10/5
『君のクイズ』 小川哲（朝日新聞出版） 10/7
『眉村卓の異世界物語 トリビュート作品集』 10/7
『ビプリオフィリアの乙女たち』 宮田眞砂（星海社 FICTIONS） 10/13
『if の世界線 改変歴史 SF アンソロジー』（講談社タイガ） 10/14
『クロノスジョウンターの黎明』 梶尾真治（徳間書店） 10/15
『ゾンビ 3.0』 石川智健（講談社） 10/18
『星霊の艦隊 3』 山口優（ハヤカワ文庫 JA） 10/18
『工作艦明石の孤独 2』 林譲治（ハヤカワ文庫 JA） 10/18
『侵略少女 EXIL girls』 古野まほろ（光文社） 10/19
『月面文字翻刻一例』 川野芽生（書肆侃侃房） 10/19
『君といた日の続き』 辻堂ゆめ（新潮社） 10/19
『太陽諸島』 多和田葉子（講談社） 10/20
『幾千年の声を聞く』 青羽悠（中央公論新社） 10/20
『オーバースペック』 未須本有生（イカロス出版） 10/21
『Ultimate Edition』 阿部和重（河出書房新社） 10/25
『きみが忘れた世界のおわり』 実石沙枝子（講談社） 10/26
『第二開国』 藤井太洋（KADOKAWA） 10/31

『令和の化学者鷹司耀子の帝都転生 プラスチック素材で日本を救う』 雨堤俊次（宝島社文庫） 11/5
『喪を明ける』 太田忠司（徳間書店） 11/9
『思い出りバイバル』 彩坂美月（講談社） 11/9
『猿と人間』 増田俊也（宝島社） 11/10
『青木きららのちょっとした冒険』 藤野可織（講談社） 11/10
『走馬灯のセトリは考えておいて』 柴田勝家（ハヤカワ文庫 JA） 11/16
『バイオスフィア不動産』 周藤蓮（ハヤカワ文庫 JA） 11/16
『そして、よみがえる世界。』 西式豊（早川書房） 11/16

『分歧駅まほろし』 清水晴木（実業之日本社） 11/17
『十二月の辞書』 早瀬耕（小学館） 11/18
『タングル』 真山仁（小学館） 11/18
『カラスは言った』 渡辺優（中央公論社） 11/21
『地羊鬼の孤独』 大島清昭（光文社） 11/24
『感染捜査 黄血島決戦』 吉川英梨（光文社） 11/24
『清朝時代にタイムスリップしたので科学ガチってみた』 佐川恭一（集英社） 11/25
『秋雨物語』 貴志祐介（KADOKAWA） 11/29
『嘆きの孔雀 ナゲキノクジャク 牧野信一センチメンタル幻想傑作集』 長山靖生編（小鳥遊書房） 11/30

『君の教室が永遠の眠りにつくまで』 鶴野莉紗（KADOKAWA） 12/6

『アナベルアノマリー』 谷口裕貴（徳間文庫） 12/8
『骨灰』 沖方丁（KADOKAWA） 12/9
『詩歌探偵フラヌール』 高原英理（小学館） 12/10
『パールの正しい使い方』 青本雪平（徳間書店） 12/10
『シュレーディンガーの少女』 松崎有理（創元 SF 文庫） 12/12
『殲滅特区の静寂 警察庁怪獣捜査官』 大倉崇裕（二見書房） 12/12
『箱の中のあなた ——山川方夫ショートショート集成』 日下三蔵編（ちくま文庫） 12/12
『11 文字の檻 青崎有吾短編集』 青崎有吾（創元推理文庫） 12/12
『踏切の幽霊』 高野和明（文藝春秋） 12/13
『超常気象 異形コレクション LIV』 井上雅彦（光文社文庫） 12/14
『南海ちゃんの新しいお仕事 階段落ち人生』 新井素子（角川春樹事務所） 12/15
『ワンダーランド急行』 荻原浩（日本経済新聞社出版） 12/17
『食われる国』 萩耿介（中央公論新社） 12/20
『遅刻する食パン少女 おとぎカンパニー』 田丸雅智（光文社） 12/21
『俺が公園でペリカンにした話』 平山夢明（光文社） 12/21
『SF の S は、ステキの S+』 池澤春菜（早川書房） 12/21
『浅生鴨短篇小説集 たった二分の楽園』 浅生鴨（左右社） 12/21
『花と機械とゲシタルト』 山野浩一（小鳥遊書房） 12/26
『明智卿死体検分』 小森収（東京創元社） 12/27

10月

12月

11月